

平成23年度茨城県自殺防止対策モデル事業採択団体一覧表（第2期締切分）

	応募団体名 代表者名	事業の概要	補助金 申請額
1	社団法人 茨城県看護協会 代表：村田 昌子	①一般住民への自殺予防啓発事業 看護職が一般住民に対するメンタルヘルス等の普及啓発と行う。 ②看護職への自殺予防啓発事業 看護職に研修を行い、現場で自殺のサインに気づき、適切な対応をとれるようにする。	1,000千円
2	社会福祉法人 茨城いのちの電話 代表：幡谷 浩史 筑波大学人間総合科学研究科産業 精神医学・宇宙医学グループ 代表：松崎 一葉	「いのちの電話相談状況と自殺動向の解析研究事業」	1,000千円
3	社団法人 いはらき思春期保健協会 会長：皆川 憲弘	①ヤングボランティアによる若者の自殺を予防するための啓発活動事業 ②思春期に関わる指導者への自殺予防研修事業 大学生らからなるボランティア、医師等の専門家が地域に赴き講義を行う。	1,000千円
4	社団法人 茨城県栄養士会 会長：高橋 征子	①こころとからだの健康づくりキャンペーン事業 栄養士がパンフレット作成・配布などを通し、一般市民に自殺対策の普及啓発を図る。 ②自殺防止研修会等事業 栄養士が、現場において気づき、適切な対応をとれるよう、研修を行う。	1,000千円
5	認定特定非営利活動法人 いはらき子どもの虐待防止ネット ワークあい 代表：坂本 博之	「オレンジテレフォン・オレンジサロン事業」 虐待サバイバーのための、電話相談（毎週月・火）、居場所づくりを行う。	1,000千円
6	社団法人 日本助産師会茨城県支部 代表：伊藤 きよみ	①助産師無料電話相談 助産師が妊婦等の悩み電話相談を行う。（毎週月～金） ②くつろぎティータイムの開催 被災者母子、妊婦への心のケアとして、話合いの場を提供する。	989千円